

富山湾漁況・海況概報

(NO. 8-7)

富山県農林水産総合技術センター
水産研究所：TEL (076) 475-0036

1. 令和8年9月の漁況

水産研究所が県下市場から収集した令和8年9月の県内の総漁獲量は332トンで、前年（1,193トン）をかなり下り、平年（過去10年平均：918トン）もかなり下った。

2. 9月の主な魚種別漁況（表1参照）

ツバISO・フクラギ：全市場合計漁獲量は100トンで平年（過去10年平均：265トン）をかなり下回った。市場別漁獲量は氷見53トン、新湊28トン、魚津12トン。

シロエビ：全市場合計漁獲量は62トンで平年（過去10年平均：80トン）を下回った。市場別漁獲量はとやま市44トン、新湊18トン。

シイラ：全市場合計漁獲量は48トンで平年（過去10年平均：171トン）をかなり下回った。市場別漁獲量は氷見28トン、新湊19トン、魚津1トン。

ベニズワイ：全市場合計漁獲量は17トンで平年（過去10年平均：34トン）を下回った。市場別漁獲量は魚津10トン、新湊4トン、くろべ2トン。

アジ：全市場合計漁獲量は14トンで平年（過去10年平均：38トン）をかなり下回った。市場別漁獲量は氷見7トン、新湊3トン、魚津3トン。

サバ：全市場合計漁獲量は10トンで平年（過去10年平均：86トン）をかなり下回った。市場別漁獲量は氷見5トン、新湊5トン、魚津1トン。

カマス：全市場合計漁獲量は8トンで平年（過去10年平均：51トン）をかなり下回った。市場別漁獲量は氷見5トン、新湊3トン。

カワハギ類：全市場合計漁獲量は8トンで平年（過去10年平均：6トン）を上回った。主にウスバハギが漁獲された。市場別漁獲量は新湊5トン、氷見2トン。

アオリイカ：全市場合計漁獲量は7トンで平年（過去10年平均：14トン）を下回った。市場別漁獲量は氷見4トン、新湊2トン、魚津1トン。

表1 令和8年9月の主な魚種別漁獲量

(単位：トン)

魚 種	漁 法	令和8年9月				前年 月計	前月 月計	平年比 (%)
		上旬	中旬	下旬	月計			
ツバISO・フクラギ	定	15	40	45	100	793	45	38
シロエビ	漁	16	14	31	62	70	25	78
シイラ	定	9	25	14	48	34	4	28
ベニズワイ	漁	1	9	7	17	21	0	50
アジ	定	4	5	5	14	13	11	36
サバ	定	3	4	3	10	143	13	12
カマス	定	1	3	4	8	7	3	17
カワハギ類	定	1	3	3	8	4	1	127
アオリイカ	定	2	3	2	7	8	1	50
小計		53	106	116	274	1,094	102	
その他		17	21	19	57	99	97	
合計		70	127	135	332	1,193	199	36

注：単位未満は四捨五入したため、月計と各旬の合計値が一致しない場合がある。

定：定置網、 漁：漁船漁業

※ 参考 かなり上(下)回る：+51%以上 上(下)回る：+50%～+21%
やや上(下)回る：+20%～+6% 平年並み：+5%以内

3. 海洋観測結果

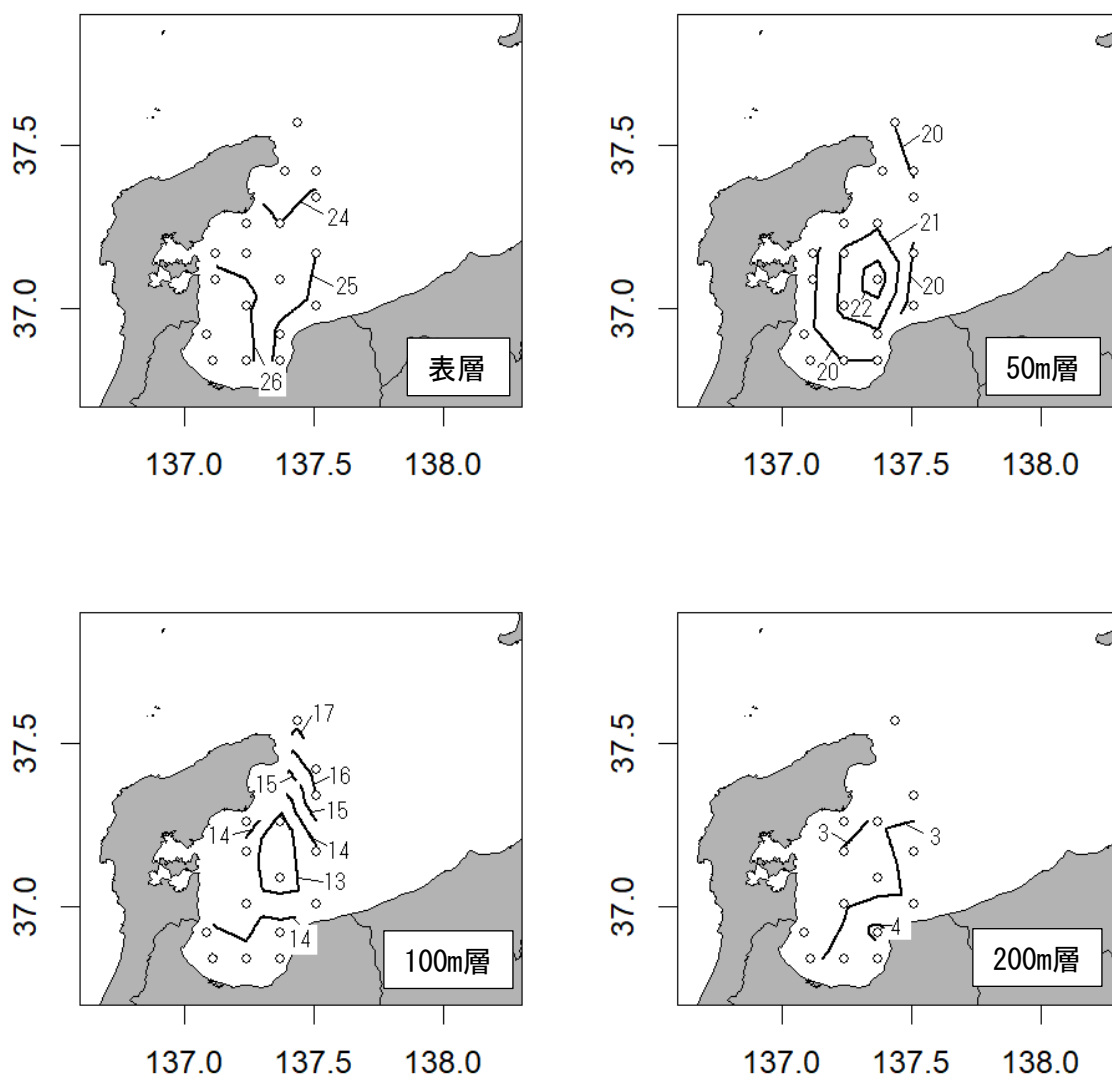
令和8年10月期の海洋観測を9月24日～25日に実施した。今回観測した水深別の湾内17定点の平均水温、これらの平年差、評価及び前月差は表2のとおりであった。また、観測域の表層、深度50m層、100m層および200m層における水温水平分布は図1のとおりであった。

観測定点の水温の範囲は、表層で24～26℃台、50m層で19～22℃台、100m層で12～17℃台、200m層で2～3℃台であった。なお、昨年同期の湾内17定点の平均水温との差は、表層で-1.61℃、50m層で-1.79℃、100m層で+0.53℃、200m層で-0.09℃であった。

深 度(m)	0	10	20	30	50	75	100	150	200	300
水 温 値	25.40	25.85	25.44	24.09	20.36	17.08	14.14	8.26	3.06	1.29
平 年 差	+0.94	+1.26	+0.95	+0.14	-0.84	-0.60	-0.56	-1.13	-1.51	-0.13
評 価	←-----→			←-----→			←-----→		←-----→	
	やや高い			平年並み			やや低い		かなり低い	
前 月 差	-3.73	-3.12	-2.68	-3.22	-3.83	-3.05	-3.06	-3.15	-1.59	-0.21

“平年並み” …約2年に1回の出現確率	“かなり高(低)い” …約10年に1回の出現確率
“やや高(低)い” …約4年に1回の出現確率	“はなはだ高(低)い” …約20年以上に1回の出現確率

図1 水温水平分布



令和 8 年秋期のフクラギ(ブリ当才魚)漁況に係る情報

○概 況

今年のフクラギ漁況は、近隣府県および富山県ともに 7～8 月までの漁獲が低調に推移しており、現時点では秋期漁況(9～12 月)は平年を下回る可能性が考えられます。

○根拠となる情報

1. 近隣府県の漁況

京都府、新潟県では平年をかなり下回り、石川県、福井県でも平年を下回る漁況となっています。富山県も7～8月の漁獲量は43トンで、過去10年平均の49%と低調でした。

2. 2026 年級群(ブリ当才魚)の現状

今年8月の富山県における漁獲量は40トンと低水準でした。また、9月の漁獲量は100トンで、前年同時期(793トン)を下回る状況となっています。8月のツバイソ・フクラギ漁獲量が多い年ほど、その後の9～12月の漁獲量も多くなる傾向があるため、現時点では秋期漁況(9～12月)は平年(過去10年平均:788トン)を下回る可能性が考えられます。過去には1月以降に漁獲が増加した事例もあることから、今後の推移を注視する必要があります。

3. 今後の予定

10月までの漁獲状況を確認し、その結果を踏まえてその後の漁況について再度情報提供します。

